



議会だより よつかいどう

発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



四街道駅北口広場再整備事業の一時凍結 (詳しくはP4 発議案第6号を参照)

場 所：四街道駅北口広場
撮影日：平成28年12月28日
撮影者：広報広聴特別委員会

表紙写真
募集!

議会だよりでは、市民のみなさんからの公募写真を掲載します。
詳しくは16ページをご覧ください。

主な内容

- 第5回議会報告会 2
- 主な議案の概要及び委員会審査概要 2～5
- 採決結果一覧 6
- 一般質問 7～13
- 第1回臨時会概要 14
- 委員会行政視察レポート 14～16

次回の定例会は2月27日～3月23日の予定です

代表質問は3月8日～10日の予定です。
 詳細は市ホームページ会期日程(案)をご覧ください。
 本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます。
 本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。
 (生中継と録画中継があります)
 市ホームページアドレス
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>
 詳しくは議会事務局 TEL.043 - 421 - 6152 (直) まで
 お問い合わせください。



第5回議会報告会（平成28年度第1回）

昨年2月の四街道市議会議員選挙で新しく構成された議会での初めての議会報告会（通算5回）を昨年10月29日文化センターにおいて開催しました。

広報広聴特別委員会を6月議会に設けて開催方法等を決め、開催の運びとなりました。全体会を最初に行い、その後各常任委員会にわかれ、予め周知しておいたテーマに沿って話し合いました。

全体会では、岡田議長から3・6・9月議会の報告を中心に行われた。9月議会の報告を報告し、森本決算審査特別委員長から、算審査について、資料に基づき行政の取り組みや議会での審議内容の報告を行いました。その後の市民の皆さまのご意見は、議会・議員としての取り組みや本会議及び委員会での言動などに対する厳しい指摘や「大洗町議会での傍聴者を増やした取り組みなどを取り入れて議会の活性化を。」等でした。

その後の常任委員会ごとの3分科会に分れ、シテイセールズ、集中豪雨対策、JR四街道駅北口広場再整備、次期ごみ処理場、小中学校エアコン設置、平和教

育、子育て環境について説明を行った後、参加した皆さまに質問やご意見をいただきました。

広報広聴特別委員会としては、周知の方法、時間配分、話し合いの方法などあらかじめの準備や工夫すべきことを改善しつつ、議会としての機能を十分に発揮して市民の皆さまの付託に応え、より開かれた議会とするために、多くの市民の皆さまに参加いただける報告会としていくことを確認しました。

（広瀬 義積記）



全体会の様子

主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、条例の改正、平成28年度一般・特別会計補正予算、工事請負契約の変更契約の締結についてなど14件の議案と2件の発議案、1件の陳情の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。
（採決結果一覧はP6）

総務

議案第1号 四街道市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の施行に伴い、個人情報の訂正に関する規定の整備、その他所要の規定の整備を行うため提案されたものである。

【質】 改正案に、「必要がある」と認めるとき通知するものとする」とあるが、どのようなときか。

【答】 提供に係る保有個人情報の内容や、提供先における利用目的を勘案し、個別に判断されることとなる。

議案第2号 四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定により、所要の規定を整備するため提案されたものである。

【質】 今後はどのように対応していくのか。

【答】 国や近隣市町村の状況を踏まえつつ、市民にとって利便性の向上が見込まれるものについては、マイナンバーの利用ができるよう、今後も対応していきたいと考えている。

議案第5号 四街道市税条例等の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、地方税法等の一部を改正する等の法律の施行等に伴い、所要の規定を整備する必要が生じたため提案されたものである。

質 四街道市では、どのくらい影響があるか。

答 償却資産の申告期限が1月末までとなるので、現時点で把握することはできないが、特例措置の対象が太陽光については、売電目的以外になっていてるので、影響は大きくないと考えている。

議案第10号 平成28年度四街道市一般会計補正予算（第4号）（可決）

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億5814万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ264億8617万2千円とするものである。

繰越明許費については、臨時福祉給付金等給付事業ほか1件を追加するものである。

債務負担行為については、24

時間電話健康相談業務委託1件を追加するものである。

〈総務常任委員会所管事項〉

質 市有地売却代金について、売却の目的はどこかに何かを作るために売ったのか、現金として財政に入れるために売ったのか。

答 市の歳入となるよう売却したものである。

質 売却した市有地はどういう土地でどこにあるのか。

答 大日緑ヶ丘2358番地の1で、大日交番の隣の土地で、地目は宅地である。

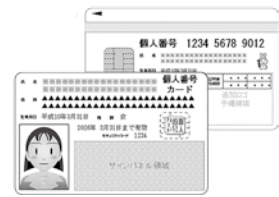
質 個人番号カード交付事業費補助金について、上限の見込み額が決まったとのことだが、内容はマイナンバー何名分ということではなく、四街道市の人口の分そのまま決まったということなのか。

答 財源は総務省からの補助金である。今回の上限の見込み額については、国全体の交付金の総額が決まり、平成27年1月の人口割で算出されたものである。上限額については見込み額のため、現段階の額で補正することとなる。

質 マイナンバーカードを作った人の割合はどれくらいか。

答 四街道市のマイナンバーカードの交付状況としては、11

月30日現在、8708枚で、人口に対して9.4%ほどになる。



都市環境

議案第6号 四街道市営自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について（可決）

【提案理由】 本案は、もねの里地区住居表示の実施及び物井特定地区画整理事業による自転車駐車場の集約に伴い、市営自転車駐車場の名称等の変更を行うため提案されたものである。

質 駐輪場が集約されたことで駐車台数に変更はあるのか。

答 従前の3箇所全体で自転車、520台、原動機付き自転車、55台が、現在の2箇所では自転車、650台、原動機付き自転車、65台となり、自転車が増えることとなる。

議案第7号 下水道事業の地方公営企業法適用及び上下水道組織の編成に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（可決）



【提案理由】 本案は、下水道事業の地方公営企業法適用及び上下水道組織の編成に伴い、関係条例を整備する必要が生じたため提案されたものである。

質 地方公営企業法で下水道事業は法適用だと思いが、下水道事業は実質的な任意適用との理解でよろしいか。

答 水道事業は地方公営企業法が適用される事業で、下水道事業については、自治体の条例で公営企業法の適用が出来る事業として位置づけられているので、今回、法適用となる。

議案第9号 工事請負契約の変更契約の締結について（可決）

【提案理由】 本案は、雨水地下

貯留施設等設置工事において、当初契約に含まれていなかった工種の追加及び数量の増減に伴い、変更契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により提案されたものである。

質 変更契約は随意契約で行なうのか。

答 工事の継続ということ随意契約で対応する予定である。

質 降雨量1時間最大50ミリで計算していると思うが、何分ぐらいで一杯になるのか。

答 現状では30分程度を見込んでいます。

質 振動の少ない工事に変更するといいことだが、近隣からのクレーム等があったから変更したのか。市独自の配慮なのか。

答 当初の杭を打ち込む工法だと周辺に商業地があることから配慮し市の方で振動の少ない工法に変更した。

質 貯留施設完成後の文化センター駐車場の台数並びに障害者用駐車場の台数はどのようになるのか。

答 基本的には原状に戻す整備工事となる。従前の台数が84台で、完成後は86台になる見込みで、障害者用については従前の4台と変更はない。

みで、障害者用については従前の4台と変更はない。

議案第10号 平成28年度四街道市一般会計補正予算(第4号) (可決)

〈都市環境常任委員会所管事項〉

質 ごみ処理施設周辺対策事業について、道路の現況の基本測量の目的は何か。また、連絡協議会の中ではどのようなになっているかの説明を。

答 路線については次期ごみ処理施設用地の南側から国道51号に至る約1キロの路線で、連絡協議会の中で地域振興策を協議してきたが、用地に隣接している区域の生活環境を重視して事業を遂行していく事で承認された経緯がある。また、国道51号が将来4車線に拡幅され中央分離帯が設置されると施設からの右折が不可能となるので拡幅整備を行うという位置づけとなる。

質 農産物生産等支援育成事業について、認定農業者の補助金は国からの補助はどの程度なのか。

答 認定農業者推進事業補助金については四街道市独自のものなので、国からの補助はない。

質 千代田近隣公園バックネット設置工事について、完成時期はわかっているのか。

答 復旧時期については、補正予算承認後速やかに入札を行い工事業者を決定し、平成29年4月末までに工事を完了させる予定となる。

議案第12号 平成28年度四街道市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) (可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ447万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、14億859万3千円とするものである。

質 下水道維持管理事業の場所はどこか説明を。

答 市内広範囲にわたる。年間40件から50件ほど腐食等で維持補修工事が必要な場所が生じることを想定している。

発議案第6号 四街道駅北口広場再整備事業の一時凍結を求める決議 (可決)

【提案理由】「四街道駅北口広場再整備事業の一時凍結を求める

決議」をするため提案されたものである。

四街道駅北口広場再整備事業は、市の玄関口である四街道駅を中心とした安全性、利便性、快適性、回遊性を有する交通結節点の再整備を目的に平成26年度からの前期基本計画及び平成27年の都市再生整備計画に位置付けられている。

また、四街道駅北口広場管理運営協議会に諮問し、平成23年度から計8回の協議会が開催され、協議会における案が平成26年9月19日に答申された。

市は同協議会からの答申案に加え、歩行者デッキに広場スペース等を設けた案により、市民参加条例による意見提出手続を実施した結果、意見提出者102名、意見件数285件があり、多額の事業費や環境、景観等を理由に9割を超す反対する旨の意見が寄せられた。

一方で当市の厳しい財政状況下において、次期ごみ処理施設建設、文化センター改修及び庁舎建替え事業等により多額の事業費が見込まれる。

このことから、以下決議する。

1. 四街道駅北口広場再整備工事は、一時凍結すること。

教育民生

議案第8号 四街道市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

〔提案理由〕 本案は、地方税法施行令等の一部改正に伴い、基礎課税額及び後期高齢者支援金等課税額の限度額を改定するため、その他所要の規定を整備する必要が生じたため提案されたものである。

質 この改正により、保険税の限度額が引き上げられるとのことだが、今年度中に、どのぐらいの影響が出るのか。

答 限度額の引き上げが実施されるのは29年度からで、今年度中の影響はない。

議案第10号 平成28年度四街道市一般会計補正予算(第4号)(可決)

〔教育民生常任委員会所管事項〕

質 学級増により備品を購入するとのことだが、各小学校の状況や児童数について詳細な説明を。

答 現在の予定では、四街道小学校、八木原小学校、四和小学校で各1クラス増となる。

小学校全体ではトータル4クラス減と見込んでいる。また、児童数は平成28年度9月現在で、5006人。29年度は若干減少する見込みとなる。

質 特別支援員の予算60万2千円は1名分の予算か。また、今回の補正は4月当初から1名増で運用していたため予算額に不足が生じたということか。

答 補正予算の要望額は1名分である。当初予算は21名分で計上したが、4月から22名で運用せざるを得なかったため、予算に不足が生じたことから計上したものである。

質 24時間電話健康相談業務の委託先はどこか。また、限度額の設定はどのようにしているのか。

答 委託先は、入札により決定することとなる。また、限度額は前年度の実績を踏まえて上限を設定した。

質 私立幼稚園預かり保育補助金が減額となった理由は。

答 当初予算では、預かり保育の実施を8園と見込んでいたが、実施した幼稚園が3園だったことによるものである。

たことによるものである。



議案第11号 平成28年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(可決)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1412万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ115億788万4千円とするものである。

質 償還金の返還について、事業が確定したことによるものと思われるが、特定検診の受診率等の状況について説明を。

答 特定検診の受診率は27年度の国への法定報告の速報値では35・4%で、当初予算は前年度実績より多めに要望していることから、返還することとなる。

議会運営委員会

発議案第5号 四街道市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

〔提案理由〕 本案は、下水道事業の地方公営企業法適用及び上下水道組織の編成に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に伴い、常任委員会の所管について変更するため提案されたものである。

陳情第7号 政務活動費の領収書等の議会ホームページでの公開を求める陳情(継続審査)

陳情の趣旨

政務活動費の支出にかかる収支報告書及び領収書等を、議会のホームページで公開してください。

平成 28 年第 4 回 (12 月) 定例会採決結果一覧

全：全員賛成 多：賛成多数 少：賛成少数 ○：賛成 ×：反対 退：退席

番 号	議 案 名	結 果	阿部百合子	津島 秀樹	大越登美子	西塚 義尊	成田 芳律	栗原 愛子	関根登志夫	中島 康一	栗原 直也	坂本 弘毅	大谷 順子	清水 清子	※岡田 哲明	戸田由紀子	石山 健作	広瀬 義積	山本 裕嗣	森本 次郎	高橋 絹子	長谷川清和	阿部 治夫	清宮 一義
議案第 1 号	四街道市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 2 号	四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 3 号	四街道市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	四街道市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	四街道市税条例等の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	四街道市営自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	下水道事業の地方公営企業法適用及び上下水道組織の編成に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	四街道市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	多	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	工事請負契約の変更契約の締結について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	平成 28 年度四街道市一般会計補正予算 (第 4 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	平成 28 年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	平成 28 年度四街道市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	平成 28 年度四街道市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 14 号	平成 28 年度四街道市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第 5 号	四街道市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第 6 号	四街道駅北口広場再整備事業の一時凍結を求める決議	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長 (岡田 哲明) は、採決には加わりません



一 般 質 問

第4回定例会では、平成28年12月7日から9日、12日から15日の7日間、19人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所2階の情報公開室に設置の会議録（3月中旬発行予定）、または市ホームページの会議録検索（第4回定例会分は3月下旬登録予定）でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。

市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>



未来へつなぐ街づくり

坂本弘毅議員

問 四街道駅北口広場再整備計画について、市民の声や議会の意見を尊重し未来に向けて自慢できる市の玄関とするため今後の手順・過程はどうなるのか。

答 市民のご意見のみならず、議会のご意見を参考に、総合的に検討していきたいと考えている。

問 未来に向けて人口を増やし財源を確保するために市内の各土地区画整理事業が完結することが重要である。特に鹿渡南部特定土地区画整理事業が成功するために市の責任と果たす役割をどう考えているか。

答 都市計画事業として、進めている事業であり、事業完了に導くことが役割であり、責任と考える。

問 未来に向けて市の重要課題でもある次期ごみ処理施設整備について進捗状況はどうなっているか。

答 一般廃棄物処理施設整備基本構想は、ごみ処理対策委員会より答申がなされ、循環型社会形成推進地域計画は10月に県へ提出した。また、11月27日には吉岡区で公害防止協定書案等の説明会を開催した。

問 県内のいじめが2年連続でワーストとなっている。子供達は未来の財産であり、いじめは絶対あってはならないが撲滅のためにどのような対策を講じていくか。

答 市教育委員会では、市いじめ防止対策推進条例及び市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ対策調査会を設置し、相談体制を整備し、いじめ撲滅に向けた取り組みを進めている。

市長の政治姿勢を問う

阿部治夫議員

問 八木原小学校横の道路振動について、11月に県道の舗装工事を行ったと聞いているが、八木原小学校交差点から佐倉市寄りの数軒から工事後道路振動が一向に改善されていないとの要望が寄せられている。市は千葉県印旛土木事務所にどのような対応を要望したのか、その後の状況について伺う。

答 振動原因の一つに雨水マンホールと道路舗装面との段差が考えられ、千葉県印旛土木事務所と補修方法について協議後に高さ調整工事を実施して段差を改善した。

問 まちのコンシェルジュ事業について、惣菜の販売状況や民泊の利用状況及びそれぞれの課題について伺う。

答 印旛の旬の食材を使った惣菜が毎日10種類以上用意されており、数量限定のお弁当も大変好評と聞いている。無料宿泊所の利用状況は、延べ18名と聞いている。それぞれの課題として、アンテナショップは、より効率的な経営を進め早期に利益が生み出せる体制づくりが課題である。まちのコンシェルジュ事務所は、情報発信の強化と利用者の受入体制づくり、無料宿泊所は、稼働率の向上が課題となっている。



子どもの幸せのための教育

清水清子議員

問 基本理念「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」については、四街道市教育振興基本計画と四街道市教育の振興に関する施策の大綱があるが、その理念・方針を伺う。

答 四街道市教育振興基本計画の「教育の根本は人づくり」という考えを基に定めた「基本理念」及び今後10年間の「四街道市の教育が目指す姿」をもって施策の大綱とすることが定められた。

問 児童・生徒の体力運動能力証の交付率目標に対しての取り組み・課題について伺う。

答 市教育委員会では、新体力テストの結果を分析し、体力向上に向けた具体的な取り組みについて各学校に具体的に指導・助言している。

問 学校におけるいじめ防止対策の取り組みについて伺う。

答 児童生徒主体のいじめ撲滅に向けてのキャンペーン活動や全校集会などでの講話等を実施している。

問 特別支援教育推進事業の取り組みとして、生涯にわたる途切れのない支援体制を目指すがあるが、連携の在り方について伺う。

答 市教育委員会では、特別支援教育連絡会議を年3回開催し、幼稚園、保育園、小中学校、高等学校、特別支援学校、福祉関係課等の連携を図っている。

問 校務支援システム運用導入にあたって教員にとつてのメリットは何か伺う。

答 校務の正確性、効率性の向上が見込まれ、児童生徒と向き合う時間が確保される。

佐渡市長の政治姿勢と安全安心な街づくりについて

中島康一議員

問 東関東自動車道や国道51号等の交通便利性を生かし、四街道インターチェンジ周辺等において、良好な居住環境に配慮しながら、交通機能等の産業集積を図るとあるが、わかりやすい説明を求めらる。

答 広域幹線道路の整備に対応した業務機能等の誘導について、東関東自動車道や国道51号等の交通の利便性を生かし、市街化調整区域内の四街道インターチェンジに接続する主要地方道浜野・四街道・長沼線沿い及び国道51号沿いにおいて、大規模な流通業務施設の進出が出来るよう、平成25年に路線指定の変更を行っている。

問 小中学校の統廃合について、前回の話し合いから10年になるが、現段階での行政の考えについて伺う。

答 平成18年10月に「旭小学校、山梨小学校、みそら小学校の適正規模・適正配置に関する提言書」が提出され、同年11月の臨時教育委員会会議で、3校を存続していくとの方針が決定された。この方針の下、山梨小学校、みそら小学校の耐震化工事、旭小学校の改築工事等を実施したが、第7次四街道市行政改革推進計画の中で、ファシリティマネジメントの観点から、学校の適正規模・適正配置の検討が提起され、現在、公共施設等総合管理計画の中で検討を進めているところである。



安心安全な街づくり

栗原愛子議員

問 「相対的貧困率等に関する調査分析結果について」を読むと日本人6人に1人は貧困であり、その影響を受けるのは子供である。当市でも貧困はあると思うが子供の貧困対策の重要性に対する認識はいかがか。

答 厳しい環境にあるひとり親やその子供達を支援し、子供の将来等が生まれ育った環境に左右されないよう環境整備を進める必要があるものと認識している。また、経済的な理由で就学が困難となる状況が生じないよう、支援することが重要だと認識している。

問 空き家対策を考える上で計画を作成し現状を考える上で今、空き家に対する苦情等市民の相談件数はどれくらいあるか。

答 今年度は現在までに76件の相談があり、所有者に対し、適正な管理のお願いと情報を提供している。

問 高齢者の運転免許証の自主返納者へ、市として具体的な支援はあるのか。

答 公共交通事業者が実施する乗車運賃を割り引く優遇制度について、市政だよりやホームページ等を通じて、情報提供に努めたいと考えている。

問 道路の勾配や周辺環境により、溢水また冠水の発生が予想される箇所対策はできているのか。

答 排水施設の整備には、調査や境界査定等で時間を要するため、道路冠水の対策は、状況に応じ、道路利用者の安全確保のため、通行止め等の措置を講じる。

市民参加の街づくりとは

大越登美子議員

問 市民の声を聞き、市と市民の連携・協働による街づくりは進めていけるのか伺う。前期基本計画のこれまでの進捗と後期基本計画にむけてどう反映させていくか。

答 26・27年度においては、概ね順調に進行している。後期基本計画は、社会・経済・財政状況等、様々な環境や状況の変化及び市民意識調査に基づく市民ニーズを把握・分析し、課題等を整理したうえで、市民参加促進を図りながら進めたい。

問 前期基本計画の進捗はどのように把握しているか。解釈すればよいか。

答 庁内推進体制である「四街道市総合計画推進本部」において把握している。

問 実施計画の施策評価は行われるのか。

答 後期基本計画を策定する過程で評価したいと考えている。

問 地区に関する街づくりについて、住民参加が必要に思うかがか。

答 前期基本計画策定と同様にタウンミーティングを開催するなど、市民参加促進を図りながら進めたい。

問 総合計画の計画進行の「みえる化」を提案したい。とりわけ実施計画の公表、施策への指標、年度実績、目標値など、市民参加が必要だと思うが、お考えはかか。

答 5年間の計画であるため、単年度ごとの公開は考えていない。これまでどおり、主要施策の成果報告書や事務事業評価などでお示ししたい。

どうなる？四街道駅北口広場

大谷順子議員

問 9月議会で私が指摘した広場部分を含む変更案に関するパブリックコメントの提出状況はかか。

答 意見提出者数102名、総意見数285件、意見の内訳は、変更案に対する意見が135件、変更案以外に対する意見が150件である。

問 パブリックコメントを取り始めて最高の提出者数と件数で、そのほとんどが再整備に反対の意見だが、市長は今後どのようにしていくつもりか。

答 市民の皆様や議会のご意見を真摯に受け止め、総合的に判断する。

問 再整備が協議された協議会の中で、警察やタクシール業者から、一般車とタクシーが交差する危険性が指摘されているが、お考えを聞きたい。

答 現在の広場面積約4900㎡の中で、各交通施設の再配置を行なっている。一般車、タクシーに限らず、バスにおいても分岐や合流が生じる。広場利用の際は、交通法規を遵守し安全にご利用いただきたいと考えている。

問 フェイスビル前の歩道は6mに広げても、歩道上に階段とエレベーターが設置されるため、2mと非常に狭くなる。利用しづらい危険な歩道にならないか。

答 設計は、道路構造令に基づき実施しており、整備範囲全体に対して、千葉県公安委員会と協議している。また、県道管理者と協議しており、車椅子がすれ違える2mを確保しているので、道路構造令上、問題はないものと考えている。

木更津にも日本のどこにもオスプレイは、いりません

阿部百合子議員

問 平和首長会議で確認された新たな核廃絶署名の市民への呼びかけはどのように考えておられるか。

答 11月に開催された、平和首長会議国内加盟都市会議総会の情報をホームページに掲載し、署名に賛同・協力する同会議の紹介をしているところである。

問 木更津にオスプレイが整備基地化される。騒音や落下の危険性がある。四街道への影響をどうお考えか。

答 木更津駐屯地で実施された騒音測定の結果、飛行時は陸自運用ヘリと同程度、ホバリング時は両機体ともに周囲の生活音に包含されることとしている。また、四街道市上空を飛行することは想定されていない。

問 国保が2年後、市から県へと広域化になる。同時に高すぎる国保税で滞納者が増えている。国保税を下げるために国の補助を引き上げる要請はしているか。

答 千葉県市長会を通じ国保運営に関して要望しており、財政支援の確実な実行を働きかけている。

問 小中一貫教育のメリット、デメリットがはっきりしない中でどうして急ぐのか。

答 小中一貫教育の成果や課題については、千代田中学校区の研究で明らかになっている。今後も各中学校区において研究を積み重ね、教育効果が高い取り組みとなるよう改善と工夫を進める。

にぎわい、便利、安心の街づくり

森本次郎議員

問 成田空港のLCC便が大幅に増えたが、京成に比べてJRは本数が少なく不便であり、増発を要望できないか。また、中野行直通快速の復活、新宿発特急の佐倉・成田延伸を要望できないか。

答 成田空港へのJR線の増発は、沿線自治体と連携しJRへの要望活動を継続してまいりたい。また、新宿へのアクセスは、乗換えが必要だが、鉄道網として充実していると認識している。新宿発特急の佐倉・成田への延伸は、状況等を確認したい。

問 千葉市・市原市との3市連携が各分野で進められているが、千葉市がZOZOマリンスタジアムで開催している「マッチデー」を3市連携で開催できないか。

答 提案内容を調査等しながら考えたい。

問 各自治会で高齢化が進みU字溝清掃が負担との声を聞く。行政として対応できないか。

答 現地を確認し、土砂等の堆積率が排水施設の約50%を超える場合を目安に清掃を実施している。

問 国交付金を活用した「印旛の玄関口事業」の目玉である「無料宿泊所」の10・11月の利用者7名とのことだが、市として積極的に後押しするべきではないか。

答 市としてどのような形ができるか検討し、可能な限り協力していきたい。



市民参加条例の早急な見直しを

栗原直也議員

問 これまでのプライマリーバランスの赤字が財政の健全性に与える影響と当市の姿勢を伺う。

答 赤字が継続すれば、経常収支比率の悪化など悪影響を及ぼすこともありうるが、平成27年度は4年ぶりに黒字となった。今後は大型事業の実施状況などにより赤字と黒字を繰り返し、繰り返すと思われ。

問 四街道駅北口広場再整備計画での市民参加手続きで、意見交換手続きを実施しなかった理由と、推進評価委員会からの答申を伺う。

答 当該事業は、基本計画に位置づけされており、また、同様の事業である南口広場整備は、意見交換会手続きを採用していないため、意見交換会手続きを採用していない。また、市民参加推進評価委員会に諮問し審議していただき、手続きは妥当であると答申をいただいている。

問 パブリックコメントが全く提出されなかった場合の意見提出期間の延長や再度の手続き実施について市の考えを問う。

答 意見提出手続きでは、市民の皆さんが意見を提出できる十分な期間として30日以上を確保している。

問 公共下水道管の長寿命化工事が当市全体に実施された場合のLCC（ライフサイクルコスト）削減額はおよそどのくらいか伺う。

答 管更生を積極的に採用した場合、老朽管の入替と比べ約80億円程度の削減が見込めるのではないかと、考えている。

土地区画整理事業の現状

高橋絹子議員

問 鹿渡南部特定土地区画整理事業について、昨年組合から本市に対し14億円の賠償請求の提訴があり1年を過ぎているが、現在の裁判の状況を伺う。

答 千葉地方裁判所において、現在まで口頭弁論1回、弁論準備期日7回の審理が行われており、双方の主張、反論や証拠書類の提出を繰り返している。

問 提訴の理由の最大の理由は都市計画道路3・4・7号線整備の遅れだが、議会の「早期整備に関する請願」が平成24年6月に採択されている。市はその後どの様に努力されたか伺う。

答 主要地方道浜野・四街道・長沼線の管理者である千葉県や交通管理者の警察・公安委員会との多方面にわたる協議や、関係者を対象とした事業説明を行ない、理解が得られたので用地測量を実施したところである。

問 成台中土地区画整理事業は、3・3・1号線のめどがついたが、イオンの出店や全体の完成はいつごろか。

答 イオンとは、都市計画道路等の進捗状況を踏まえ、意見交換を行っている。また、区画整理事業は、概ね3か年程度延伸する予定である。

問 物井特定土地区画整理事業は本年終了するとのことだが、まだ更地のままの土地がありUR機構が企業誘致を行っているとのことだが、現状は如何か。

答 ホームセンター「コメリ」、貨物輸送事業者「代々木オール」のほか、ショッピングモールの進出事業者と調整中である。

教育について

石山健作議員

問 全国学力・学習状況結果について、県の正答率は、小中学校とも全国平均とほぼ同水準ながら、算数・数学に問題があると報道されたが、本市の結果について伺う。

答 本市の平均正答率を全国と比較すると、小学校は、国語、算数ともに全国と同程度であった。中学校は、基礎的な知識を問うA問題については全国と同程度であったが、学んだ知識を活用する力を確かめるB問題、数学についてはA問題B問題ともに、全国の平均正答率を下回る結果であった。今後とも調査の結果を生かし、学力向上に向けた取り組みを継続していく。

問 「産業まつり」と「消防フェスティバル」それぞれの開催状況と成果について伺う。

答 産業まつりは、11月12日（土）、13日（日）の秋晴れのもと2日間で約2万8千人の来場者を迎え盛会裏に終了した。成果としては、四街道市産の安心安全で新鮮な農産物や商業製品等を来場者に展示、販売することにより、地産地消の推進、生産者及び商工業者と消費者の相互理解を深めることができた。

消防フェスティバルには11月12日、13日の2日間で約6200人が来場し、各コーナーにおける消防職員・団員との交流を通じ、消防への関心を深め、火災予防思想の普及啓発が図られたものと認識する。



豪雨対策、西中周辺の溢水対策事業の進捗状況

清宮一義議員

問 豪雨対策、西中周辺の溢水対策事業の進捗状況について、第1工区の進捗状況を伺う。

答 グラウンド内の掘削及び流出側の人孔築造が終了し、引続き貯留施設の設置を行なっていく。

問 過日補正予算が追加され事業が完成されることとなるが、完成見込み、総額について伺う。この3千tの貯留槽が完成すると周辺地域の溢水は解消されるのか。

答 地形や周辺の状況等を考慮し、下流の能力を調査したうえで、集水面積を10.03haとして、降雨強度時間50mmで算定した降雨量において、貯留量を約3千tとしているので、道路冠水は軽減されると考えている。

問 都市計画道路3・3・1号線の事業用地交渉で理解いただけたとのことだが、付帯事業も含め事業の完成までの工程について伺う。

答 橋梁の残工事に平成29年10月より着手し、他の改良工事も同時期に施工して、平成31年度末の完了を見込んでいるところである。

問 県道浜野・四街道・長沼線、鷹の台や吉岡地域の通学生徒や総合運動公園の利用者も使用しているが、交差点を含め、事業の進捗状況について伺う。

答 千葉県において、総合公園から国道51号へ向かう吉岡交差点の右折レーンや、両側歩道設置等の整備を、来年の夏頃の完了を目指して進めている。

健康で元気に暮らす街づくり

西塚義尊議員

問 健康マイレージ事業について、先進自治体の動向評価の結果、当市での取り組みの必要性や可能性を伺う。

答 健康行動を起こすためのプログラムや、目標設定、自己申告制を取り入れた場合の公平性の問題、効果などについて引き続き先進自治体の取り組みの動向や検証結果を研究していく。

問 健康づくりに参画し、それをアピールしている団体や人材は、どれ位いるか具体的に。

答 庁内15の関係部署をはじめ、地区から推薦された37人の保健推進員等を中心に市民の健康づくり活動を行っている。

問 TOKYO2020に向けて当市としての取り組みについて伺う。

答 多くの外国人や観光客が訪れることから、市の認知度向上を図りながら、国、県をはじめとする本格的な動きと連携できるように注視したい。

問 2020年には、東京五輪・パラリンピックの観戦に多くの外国人の来日が予想されるが、四街道市に立ち寄ってもらうための施策はあるか。

答 「まちのコンシェルジュ四街道1丁目」に英語の観光リーフレットを配置するとともに、今後外国人向けの情報発信を強化していく予定である。また、国際交流協会と連携し、外国人旅行者に正しく情報発信できるよう市の施策や魅力を学ぶ講座を開催している。

子どもたちが将来への夢や希望を持ち続けるために

戸田由紀子議員

問 文部科学省は9月14日「不登校を問題行動と判断してはならない」との見解を含む通知を出した。この通知を受けての教育委員会の見解を伺う。

答 これまでも不登校を問題行動としてはとらえていない。個々の児童生徒の状況把握に努め、家庭と連携し、児童生徒の心情を一番に考え支援している。

問 子どもの貧困への対応と実態把握について、ひとり親家庭へのアンケート調査で見えてきたこと。

答 年収300万円未満の家族が多かったことから、厳しい状況にあるものと考えている。学習支援事業の利用希望については、「利用したい」「利用を検討したい」の合計が、回答者の約82%を占めていた。

問 足立区で実施した「子どもの健康・生活実態調査」が、今、全国で注目されている。子どもの健康や生活の実態と生活困難の関係性について4点の傾向を確認しており、実態把握によって得たデータは参考になると思う。本市のひとり親家庭への学習支援は初めの一步と考える。今後、本市独自の实態調査について考えを伺う。

答 実施したアンケート調査は、ひとり親家庭への初めての調査で、ひとり親家庭の状況の一端を把握できたと考えている。今後、子どもの貧困対策を進めるにあたって、さらなる実態調査等が必要になった場合には、対象や調査内容について検討したいと考えている。

安心・安全・にぎわいのあるまちづくり

長谷川清和議員

問 四街道十字路の交差点のカーブが舗装整備がされ、市民の皆さんから安心して歩ける、自転車に乗る方からも段差がなくなり、事故がなくなったと聞いている。そこで、前から要望している千葉市との境界までの歩道整備は、どのようになっているのか伺う。

答 歩道整備は、主要地方道千葉・白井・印西線の四街道十字路から千葉市方面へ向かい、東側の歩道の約30mに亘り、段差を解消するための工事を今年度内に行う予定と、千葉県印旛土木事務所より伺っている。

問 多くの市民が、心配をしている栗山地先の残土の汚染はどのような解決を考えているのか伺う。

答 現時点では、改善計画に掲げられた項目を実行させることで、状況の改善を図りたいと考えている。

問 中央公園の施設等の老朽化が進んでいると思われるが、市は、どのように考えているのか伺う。

答 中央公園の施設の維持管理については、都市公園の指定管理者である四街道市地域振興財団の作業員によって施設及び遊具を対象とした点検を月に1度実施し、さらに日常的に管理人の目視による異常の有無の確認も行っている。施設及び遊具に異常があった場合には、使用禁止等の緊急措置をとり安全性を考え施設及び遊具の修繕や入れ替え等を順次対応しているところである。

平和教育の取り組みについて

山本裕嗣議員

問 戦後71年、私たちは平和な時代を過してきた。この平和がいつまでも続くことを願うとともに、平和教育の大切さを痛感するところがある。戦争は悲惨なことで、戦争を美化するところがあってはならない。

9月議会の会議録から、教育長の知覧特攻隊員の話で「爆弾を抱いて敵に向っていった子供たちを、非常に美しいと感じた」と話されたが、特攻隊員、敵であるアメリカ兵にも家族がいることで、両者にとって不幸で悲惨な出来事である。私は美しいと思わないが、どこが美しいと感じたのか、教育長の考えを問う。

答 戦争を美しいと言ったことはないし、戦闘を美しいと思ったこともない。広島・長崎で、子どもたちには戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを学んでもらいたい。特攻隊の子どもたちがあまりにも純粋な気持ちで飛んでいった事実をその手記から知ると、「美しい」と感じてしまふこともあると説明した。その子たちが飛び立って亡くなったこと、相手の米軍の兵士が亡くなったことを美しいと言ったのではなく、戦争を美化したものではない。平和教育を通して、戦争で国際紛争を解決するのではなく、世界の人々が理解し合い、平和を希求すべきであることを伝えたいと思うし、子どもたちにもそのことを学んでもらいたい。



国の介護サービス抑制や負担増に
反対し市民の介護サービスを守ろう

津島秀樹議員

問 国は、要支援1・2の保険給付はせずし、支援事業化の押し付け、安価な代替サービスの導入と認定率下げを強要しているが、介護サービスを守るため、介護事業者支援、有資格者の養成・配置、資格取得に向けた支援策と予算確保をするべきと考えるが。

答 事業所の運営費に支援する考えはないが、介護人材確保支援として、介護職員初任者研修等の研修修了者に対し、経費の一部を助成する準備をしている。

問 待機児童解消のため、更なる増設と保育士確保のための賃金助成を図るべきと思うが。

答 保育を必要とする児童が増加するものと推計しており、認可保育施設の新設等に取り組みとともに、国の保育士確保プランを注視し、その対応を図っていく。

問 駅北口広場再整備計画のパブコメに多くの市民から意見が寄せられ、9割が反対している。市民参加、設計上、予算上の全ての面で問題のあるこの計画の抜本的見直しを求める。

答 今後の方針について、市民のご意見のみならず、議会のご意見を参考に、総合的に検討していきたいと考えている。

問 物井駅東口への連絡道路建設は住民の強い願いである。1日も早い実現に向け、調査費の計上を求める。

答 道路整備には多額の費用がかかることから、交付金を活用すべきと考えているが、他事業の今後の交付金の動向により、時期は左右されることをご理解願う。

高齢者を支える取り組み充実

広瀬義積議員

問 28・5%と全国平均を超えさらに急激な高齢化が進む当市では、高齢による運転免許証の返納や近くに商店がない地域も増えるなど、高齢者を取り巻く生活環境は厳しさを増しており、福祉の枠を超えて、高齢者を支えるための対策が求められている。急激な高齢化への課題について聞く。

答 急激な高齢化に伴い、介護を必要とする高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれる。また、高齢者世帯が増加し、中でも、ひとり暮らし高齢者の増加が顕著になると想定される。地域包括ケアシステムの構築など、地域で高齢者を支える取り組みが不可欠であり、かつ、高齢者の積極的な社会参加や地域活動を支援する取り組みが重要だと考える。

問 徘徊高齢者の増加も予想されていることから、福島県郡山市で実施している「徘徊高齢者身元確認QRコード」の事業などの導入など、今後求められる施策について聞く。

答 徘徊高齢者位置情報システム利用助成制度があったが、利用はほとんど無く、平成27年度に廃止した。それに変わるものとして、連絡先をQRコード化したシールを衣服や持ち物に貼り、徘徊高齢者を発見した時にはQRコードを読み取ることで連絡先に通じるシステムについて、その運用方法等について事業実施の可能性を研究している。



◆よつぼくんラインスタンプ◆

「よつぼくん…四街道の魅力を伝えるために生まれたキャラクター」

第1回 臨時会概要

平成28年11月1日に第1回臨時会が行われました。
平成28年度一般会計補正予算についての審議が行われました。
主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。

都市環境

議案第1号 平成28年度四街道市一般会計補正予算(第3号)(可決)

(西中学校地下貯留施設整備工事)

補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7172万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ259億2802万9千円とするものである。繰越明許費については、排水路整備事業1件を設定するものである。

地方債については、排水施設整備事業の限度額を変更するものである。

近隣への騒音対策はどうなっているのか。

低騒音の重機を使用する予定である。

西中学校の部活動への影響は出ないのか。

工期については部活動等への影響が出ないよう学校と調整中である。

繰越明許費で今年度中の契約になると思うが、工事はいつから着工するのか。また、一部工事は着工中



西中学校工事の様子

だが、契約は改めて行うのか。
すでに終わっている。工期は3月までに完了する予定で、予算確定後着工する。二期工事は西中学校と調整中であり、開始時期は未定である。工事に要する期間は概ね4カ月を想定している。契約については、一般競争入札を予定している。

平成28年第1回(11月)臨時会採決結果一覧

全：全員賛成 多：賛成多数 少：賛成少数 ○：賛成 ×：反対 退：退席

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	※岡田哲明	戸田由紀子	石山健作	広瀬義積	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	平成28年度四街道市一般会計補正予算(第3号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(岡田哲明)は、採決には加わりません。

委員会行政視察レポート

議会運営委員会

1. 視察日 平成28年10月19日(水)～21日(金)

2. 視察先 (1)岐阜県可児市 (2)多治見市

(3)三重県四日市市

3. 視察内容

(1)可児市

人口規模や議員定数も四街道市と同規模であり、議会基本条例制定も同時期だが、予算決算審査サイクル等により政策提言を実施している。

予算決算審査サイクルは、議長と監査委員会を除く20名で予算決算委員会を構成。決算委員会では、重点事業点検報告書という決算審査を充実させるための詳細な資料が提出され、所管ごとの説明のみを実施。その後、通告制により質疑を提出。約200項目ほどの質疑の中から正副委員長が選択し、質疑を実施。その後、常任委員会ごとに次年度予算に反映させたい提言をまとめる。最終日の決算委員会最終的な提言を全会一致でまとめ市長へ通知する。予算委員会では提言反映結果報告をもらい、決算審査と同じサイクルで実施される。

(2)多治見市

平成22年3月議会で制定された議会基本条例に基づき、議員間討議や市民と議会の対話集会が平成22年度より年1回、小学校単位で



▲四日市市にて

できる。また、1年間の会期を通じ、委員会所管事項に関する調査研究が実施できることにより、委員会の活性化につながった。
(大谷順子記)

開催され、参加者は約200名だったが、「動員により参加者が固定化」「幅広い世代と交流したい」と、平成26年に課題を抽出した。そして、議会として興味あるテーマを設定し、テーマごとに会場を設定、平日・休日の昼間で、対面方式から車座に変更。これにより、女性の参加者、30代から50代の参加者が半数を占めるようになっていた。また、平成26年度は教育委員会を通して連合生徒会に2回おじゃまして、中学生との対話集会も開催。平成27年度は中学生、高校生との対話集会も実現。
(3) 四日市市
2014年議会改革度ランキング1位と高い水準で改革を進める四日市市議会の通年議会は平成23年5月、議会基本条例施行と同時に通年議会を開始。概ね5月から翌年4月末までが1年間の会期。災害等の突発事件や緊急性のある課題、専決処分を行っていた議決事件を議長権限で「緊急議会」を開催し審議

総務常任委員会

1. 視察日 平成28年10月25日(火)～27日(木)

2. 視察先 (1)長野県長野市 (2)福井県坂井市
3. 視察内容

(1)長野市(ながのシティプロモーションについて) 人と人との関わり、「縁」という文字をシンボルマークとして、郷土の魅力をもっと再認識し、愛着と自信をもってもらい、市外にももっと、関心を持ってもらうため、「ながのご縁を」信都・長野市」をキャッチフレーズに、名刺、ポスター、包装紙、紙袋など、幅広い活用をしている。さまざまな分野で活躍する市民を取材し、紹介する「ナガラボ」による魅力発信をしている。長野市のきれいな水を「長野の命水」として製造・販売など幅広い事業を展開している。



▲長野市にて

より、シティプロモーションの説明を受けた。
① 静岡県島田市：市民目線の広報を作成。住民の声を可視化し、地域の問題を自分事として捉えてもらえ

(2)坂井市(全国シティプロモーションサミット2016) 情報発信の先進事例2市と品川区

る「信頼される紙面」を目指している。また、ホームページ、コミュニティFM、SNSなど様々な媒体を活用し、戦略的メディアミックスを展開。広報誌のアート特集を博物館の企画展として「リアル化」するなど、読者の行動を促す情報発信を心掛けている。

② 福井県あわら市：ホームページ上でインターネット放送局「ねっとdeあわら」を運営。映像を通じて、まち、市政、イベント、人物などあわら市の魅力を発信している。

③ 品川区：しながわの「わ」の文字から、「わ！しながわ」をキャッチコピーとしてロゴマークを作成。「わ！しながわ」キャンペーンとして、JR東日本の駅ビルとタイアップし、期間限定でカフェなどを活用したプロモーションを実施。区内駅や車内へのポスター掲出、さらには都内カフェ70店舗への折り込み式フリーペーパーを設置。
(清宮一義記)

都市環境常任委員会

1. 視察日 平成28年11月9日(水)～11日(金)

2. 視察先 (1)大阪府箕面市 (2)東大阪市
(3)兵庫県川西市

3. 視察内容
(1)箕面市(都市型農業の推進、農地保全・活用施策について)

都市型農業の推進、農地保全・活用施策について市独自の先進例を伺うことが出来た。特に小学校の食農教育の実施として箕面産地

産地消でどんな形状になっても食材として使用している。農業委員会内部に教育委員会の食育担当を置き、地元で生産された野菜を献立に反映できる体制がある点。また、平成26年2月に箕面市農業公社を設立し市内遊休農地解消率が98%（平成28年9月末時点）となっており農業委員が月2回の農地パトロールを実施することで、遊休農地を事前に把握し未然防止に努めているとのこと。

(2)東大阪市（ファームマイレージ運動）

この運動の目指すものは生産者の視点から消費者の目線にと転換し安心して農産物を作るから食べるまでの流れを消費者を起点として循環させていく地産地食と捉えているとのこと。

仕掛けとして、2009年当初は市内にあるJA直売所、朝市14か所でエコ農産物の販売を通して生産者と消費者の皆さまが繋がることで市内農業の理解を深めていただくこうとスタート。また、感謝状・表彰状を集めた方を対象に収穫体験や食をテーマにした消費者参加型イベント等を企画。課題及び問題点としてファームマイレージ運動を展開している場所は主に市内にあるJA直売所・朝市17か所であるが、ここを訪れない市民に対しても運動の周知をしていく必要があるとのこと。

(3)川西市（国崎クリーンセンター）

事業主体は、猪名川上流広域ごみ処理施設組合（川西市、猪名川町、豊能町、能勢町）で、処理方式は、全連続ストローカ式焼

却炉+ガス燃料による灰溶融で、炉数2炉。処理能力は235t/日で、灰ガス処理設備はろ過式集塵機、湿式有害ガス除去装置、活性炭吸着塔、触媒反応器となる。

ごみ焼却炉をストローカ式に決定した経緯については、①公害・環境汚染を引き起こさないこと。②地球環境にやさしいこと。③地域住民にとって安心でき、かつ、良い関係をもてること。④維持管理がしやすいこと。

⑤経費を節減できること等の総合的視点から、採用実績も多い事もありメーカー決定においては競争原理も期待でき、安定性、信頼性、経費の節減の理由から、「ストローカ炉+灰溶融方式」としたとのこと。

また、灰溶融炉では操業当時から放射能の基準値を超えたものは検出されていないとのことでした。

（清水清子記）



▲東大阪にて

表紙写真を募集します

議会だよりでは、市民のみなさまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。募集要領は以下のとおりです。奮って応募ください。

募集要領

- 規 格：2L(紙焼き)、カラーあるいはモノクロ(未発表、未公開のオリジナル作品)
※写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は返却いたしませんのでご了承ください
- 内 容：四街道市内の風景
※明らかに人物を特定できる場合はご本人の了承を得てください
- 審 査：広報広聴特別委員会
- 発 表：採用された作品は、5月15日発行の議会だよりに掲載
※賞品等はありませんのでご了承ください
- 著 作 権：作品の著作権は製作者本人に帰属
※ただし、6ヶ月間他媒体での発表等をご遠慮いただくことを作品採用の条件といたします
- 応募方法：平成29年4月7日(金)(当日消印有効)までに、写真の裏面に撮影者の①住所②氏名③年齢④電話番号⑤撮影年月日⑥撮影場所⑦作品名を記入の上、〒284-8555 四街道市鹿渡無番地 四街道市議会事務局宛て郵送
- 問い合わせ：TEL.043-421-6152 FAX.043-424-2016
市ホームページアドレス
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>

編集後記

12月議会では、市民の皆さまの負託にこたえるべく、多くの議員が、一般質問を終えた。

とりわけ、今回は四街道駅北口広場再整備計画についての質問が多く、もつとも関心が高いものといえた。残土問題、ごみ処理施設建設等、引き続き課題は多い。

市民の皆さまにわかりやすく、的確にお伝えすることを私たちは常に考えなければな

らない。市民ニーズをとらえ、よりよい議会だよりをめざし、新しいことに挑みたい思いで委員一同おります。ご意見をお寄せ下さい。

（大越登美子記）

◎広瀬 義積

○中島 康一

阿部百合子

大越登美子

西塚 義尊

坂本 弘毅

阿部 治夫

（◎委員長○副委員長）